

朝日遺跡ガイドブック

朝日遺跡へ ようこそ!

アカ
まるまどつぎどき
円窓付土器に
はまってしまった弥生犬。
ちょっと天然。

弥生神
あさひいせき
朝日遺跡のことは
何でも知っている弥生の神様。

クワ
まるまどつぎどき
アカと同じく円窓付土器に
はまってしまった縄文犬。
クールで静かな性格。



住所：〒452-0932 愛知県清須市朝日1
電話：052-409-1467
駐車場：あり
休館日：日・月・火・祝日・年末年始
※平成28年5月8日から、月・火・水・祝日・
年末年始に変更

貝殻山貝塚資料館
朝日遺跡研究の最前線
朝日遺跡を見たい・知りたいのなら、
まずはココから出発しましょう!
少しレトロな館内は、朝日遺跡の「な
ぜ?」「どうして?」を教えてください。
解説や、貴重な出土品でいっぱいです。
年に一回の企画展では、ふだん見るこ
とができない、めずらしい品々が展示さ
れることもありますよ!
火おこし体験や、ミニチュア土器作り
などの体験学習は、いつでも受付してい
ます。
聞きたいこと、わからないことがあつ
たら、いつでも係のひとを呼んでくださ
いね。やさしく、くわしく解説してくれ
ます。



交通案内

(株)東海交通事業城北線尾張星の宮駅から 徒歩 10分
名鉄名古屋本線新清洲駅から 徒歩 30分
JＲ東海道本線清洲駅から 徒歩 35分
名古屋第二環状自動車道清洲東1Cから 車で約5分
朝日遺跡インターネット博物館

<http://www.pref.aichi.jp/kyoiku/bunka/asahi/>

<https://www.facebook.com/asahiiseki/>

facebook あいち朝日遺跡 検索

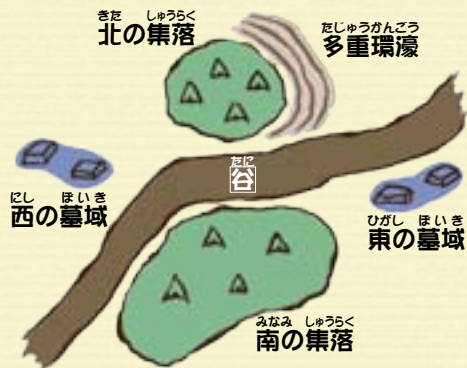
発行日 平成28年2月29日

編集・発行 愛知県教育委員会



いせき 遺跡のうつりかわり

3. 弥生時代中期(2,000年まえ)



集落がもっとも大きくなり、大きなお墓がたくさんつくられました。

だいこうすい 大洪水?

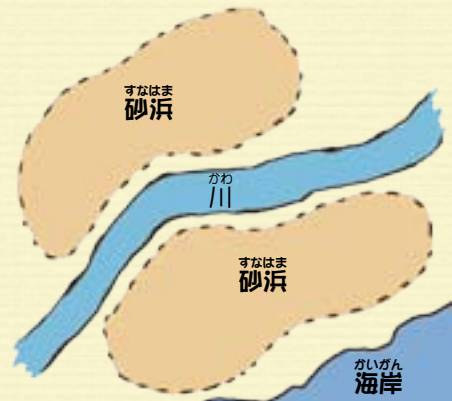
4. 弥生時代後期(1,700年まえ)



洪水の後、あたらしい谷ができて、遺跡は小さくなりました。朝日銅鐸が埋められたのは、このころです。

朝日遺跡では、600年にわたって人々が生活していました。

1. 縄文時代後期(4,500年まえ)



当時は砂浜で、集落はありませんでした。海岸が近く、川も流れていました。

2. 弥生時代前期(2,200年まえ)



いまの資料館(貝殻山貝塚)のあたりに、人が暮らし始めました。むかしの川は、水がなくなって谷になりました。

弥生時代って? 今から2,000年以上のむかしを、弥生時代とよびます。 そのころの人たちは、お米をそだてて暮らしていました。戦争があったともいわれているよ。

朝日遺跡は、東海地方でいちばん大きな、弥生時代の遺跡です。 遺跡には、このあたりでいちばんの王さまが住んでいて、たくさんのお宝が、発掘で見つかりました。



集落をかこむ溝(堀)を、環壕とよぶんだよ。



弥生時代中期の集落

朝日遺跡ってどんなところ?

モノや情報があつまるところ

じょうほう

ほくりく
北陸

ヒスイ
(まが玉の材料)
たまざいりょう

あさひいせき
朝日遺跡

ひがし
東に
つた
伝わる

どうたく
銅鐸

きんき
近畿

ともえがたどうき
巴形銅器

きゅうしゅう
九州

どうてつ
銅・鉄

ちょうせんはんとう
朝鮮半島

ほくりく
北陸からの宝石（ヒスイなど）や、
きんき
近畿・九州からの金属器……

あさひいせき
朝日遺跡には、
あさひいせき
弥生時代のとても珍しい品々や
それをつくるための高度な技術が
あつ
集められました。

こうしたモノや技術は、
あさひいせき
朝日遺跡がとても大事な
場所であったこと
そして、

たぐさんの人たちが
あさひいせき
朝日遺跡におとずれたことを、
いま
今のわたしたちに
おし
教えてくれるのです。

こうとく
高度な技術やモノを持っていて
たぐさんの人が集まるから
あさひいせき
朝日遺跡は大きくなったのかな



いろいろな文化が
出会ってあ
いそいそ

でんとうばんが じょうもんばんが
むがしからの伝統文化=縄文文化



流行の発信

ていねいにつくられた土器や石器。
朝日遺跡で生まれ、つくられる、す
ぐれた道具のデザインは、ほかの
地域に伝わり、大きな影響をあたえ
ました。



独自の文化

ここに穴が
空いています

円窓付土器は、朝日遺跡でつくら
れたナゾの土器。使いかたが、わか
りません。

わたしたちにもわからない、
朝日遺跡だけの文化や風習がうまれ
ました。



かいがらやまかいづか 貝殻山貝塚

あさひいせき 朝日遺跡の始まりの地

紀元前6世紀頃、弥生人たちがこの場所に移り住んできたことが、朝日遺跡の始まりとなりました。貝塚から見つかるたくさん貝殻や土器の欠片は、弥生人たちの生活のようすを、わたしたちに教えてくれます。



緑豊かな公園内の、小高い丘が貝殻山貝塚



円窓付土器は、朝日遺跡の南端から、たくさん出土しています。集落の境界と、何かかわりがあるのかもしれませんが。

まるまどつきどき
円窓付土器
あさひいせきう
朝日遺跡生まれの
なぞの土器

まるまどつきどき、胴に大きな丸い穴が開けられた壺形の土器です。何に使われていたのか、くわしい使いかたは今もわかっていません。みなさんも、なぞの土器・円窓付土器の使いかたを推理してみませんか？



かいづか 貝塚の断面と出土した貝殻



弥生時代の初期の貝塚



ハマグリ・カキ・シジミなどの貝が食べられていました。

魔法のアクセサリー
巴形銅器



*現在、貝殻山貝塚資料館では展示していません。

ともえがたどうき
巴形銅器
魔法のアクセサリー

巴形銅器はおもに九州地方で見つかる弥生時代の青銅器です。魔除けや敵の攻撃をふせぐ効果があるアクセサリーとして使われていたと考えられています。



出土地点の現在の様子

あさひどうたくしゅつどちてん
朝日銅鐸出土地点

朝日銅鐸は、集落のはずれに埋められていました。近くには、お墓や集落を囲む環濠がありました。いずれも銅鐸の穴を避けてつくられています。
銅鐸が埋められていた場所に、何か目印があったのかもしれませんが。



*現在、貝殻山貝塚資料館では展示していません。



どうたくが埋まっていた場所は、今は道路の下なんだ...

(上) 銅鐸は横に寝かせて埋められていました。
(下) 溝や環濠は、銅鐸を避けてつくられていました。(赤丸部分に銅鐸が埋められていました)





逆茂木・乱杭のあった場所。今は道路になっています。



朝日遺跡からは、地面に穴を掘り、その上に屋根をつけた竪穴住居が、たくさん見ついています。丸い家と、四角い家がつくられていました。



折り重なる逆茂木



しゅうらく なか 集落の中には



打ちこまれた乱杭



なに 何が邪魔してるから、まえに進めないよ!?

たじゅうかん 多重環濠

しゅうらくへ 集落の防御線

弥生時代の集落のまわりには環濠という溝が掘られていました。朝日遺跡集落にも環濠がありました。北の集落の東側は4本もの環濠が掘られていて、特にしっかりまもられた場所でした。



北の集落があった場所には、今田ぼがひろがっているんだよ。

逆茂木・乱杭の想像図 (森沢康代画)



さかもぎ 逆茂木や乱杭



北側の集落の谷には、木の杭や枝を何重にもかさねて打ちこんだ逆茂木や乱杭がつくられていました。この逆茂木や乱杭は、集落の外から敵が侵入するのをふせぐ障害物という説と、洪水から集落をまもる治水施設と考える説があります。



かんごう なか 環濠の中から...

朝日遺跡の環濠からは、たくさんの土器が見つかります。下の宮廷式(パレススタイル)土器も、そのひとつ。胴の赤い波線は、龍(ドラゴン)を描いたものと考えられています。





鳥形土器 (鳥の形をした土器)



骨角製の装飾品 (アクセサリー)

朝日遺跡からは、土器、
金属器など様々な種類
た。これらの出土品は、
技術を知るためにととも
平成24年に国の重要文化財
保管されています。



赤彩土器

木器、石器、骨角器、
の遺物が出土しまし
弥生時代の生活文化、
重要であることから、
に指定され、大切に



赤彩土器とガラス玉

重要文化財朝日遺跡出土品

じゅうようぶんかざいあさひいせきしゅつどひん



勾玉・管玉 (首飾り)



木でつくられた農具